

平成23年度 「大分県基礎・基本の定着状況調査」

「全国学力・学習状況調査問題を活用した別府市学力調査」

別府市結果

別府市教育委員会

1. 調査結果公表の目的

平成23年度「大分県基礎・基本の定着状況調査」及び「全国学力・学習状況調査問題を活用した別府市学力調査」の調査結果及び別府市全体の課題と課題解決の方策を公表することにより、別府市児童生徒の学力向上に向けて、学校、家庭及び地域がそれぞれの果たすべき役割を認識し、一体となって取組を推進する機運を構築することを目的として調査結果を公表する。

2. 調査の概要

	大分県基礎・基本の定着状況調査 (大分県教育委員会実施)	全国学力・学習状況調査問題を活用した 別府市学力調査 (別府市教育委員会実施)
調査目的	県内小・中学校児童生徒の学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の定着状況を客観的に把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることにより、児童生徒の確かな学力の向上に資する。	別府市立小中学校の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
実施日	平成23年4月19日(火)	平成23年9月29日(木) 中学校実施 平成23年10月7日(金) 小学校実施
調査対象	小学校第5学年及び中学校第2学年	小学校第6学年及び中学校第3学年
調査事項	国語(「基礎」及び「応用」に関する問題) 算数・数学(「基礎」及び「応用」に関する問題) 英語(「基礎」及び「応用」に関する問題) 学習意識調査(学習意識や生活実態の調査)	国語A(主として「知識」に関する問題) 国語B(主として「活用」に関する問題) 算数・数学A(主として「知識」に関する問題) 算数・数学B(主として「活用」に関する問題)
備考	全小・中学校を対象に実施された。	文部科学省から配布された全国学力学習状況調査問題を活用し、全別府市公立小・中学校を対象に実施した。

3. 調査結果

(1) 平成23年度基礎・基本の定着状況調査 別府市平均正答率（単位：％）

【小学校第5学年】

■ 国語

年度	大分県（公立）		別府市教育委員会			
	基礎	応用	基礎	県との差	応用	県との差
H21	72.5	57.7	69.1	▲3.4	52.8	▲4.9
H22	73.3	42.7	72.3	▲1.0	40.5	▲2.2
H23	72.6	45.8	71.4	▲1.2	44.0	▲1.8

■ 算数

年度	大分県（公立）		別府市教育委員会			
	基礎	応用	基礎	県との差	応用	県との差
H21	80.8	67.9	79.7	▲1.1	64.5	▲3.4
H22	80.3	66.5	79.7	▲0.6	64.4	▲2.1
H23	82.4	62.0	82.0	▲0.4	59.6	▲2.4

【中学校第2学年】

■ 国語

年度	大分県（公立）		別府市教育委員会			
	基礎	応用	基礎	県との差	応用	県との差
H21	67.8	52.1	64.8	▲3.0	49.0	▲3.1
H22	76.9	53.7	75.3	▲1.6	52.0	▲1.7
H23	76.6	45.8	75.9	▲0.7	43.9	▲1.9

■ 数学

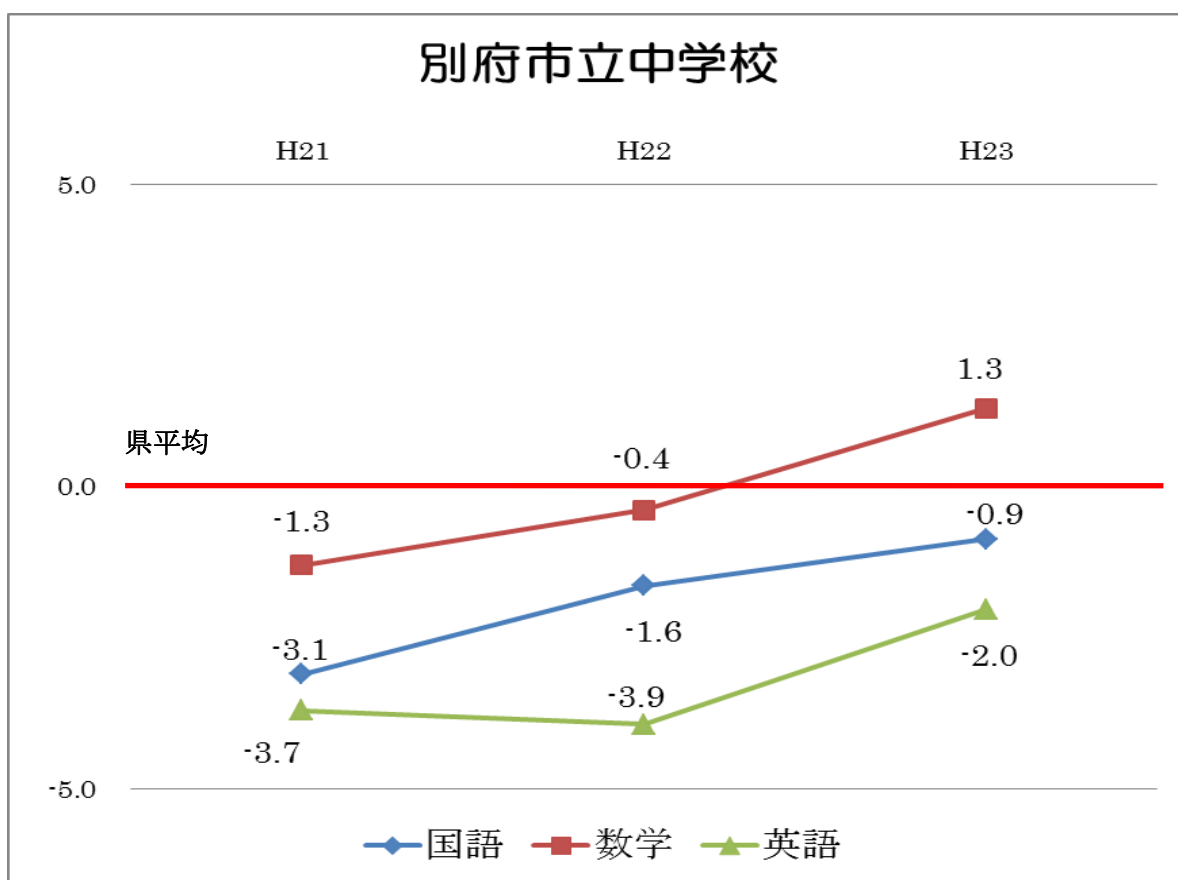
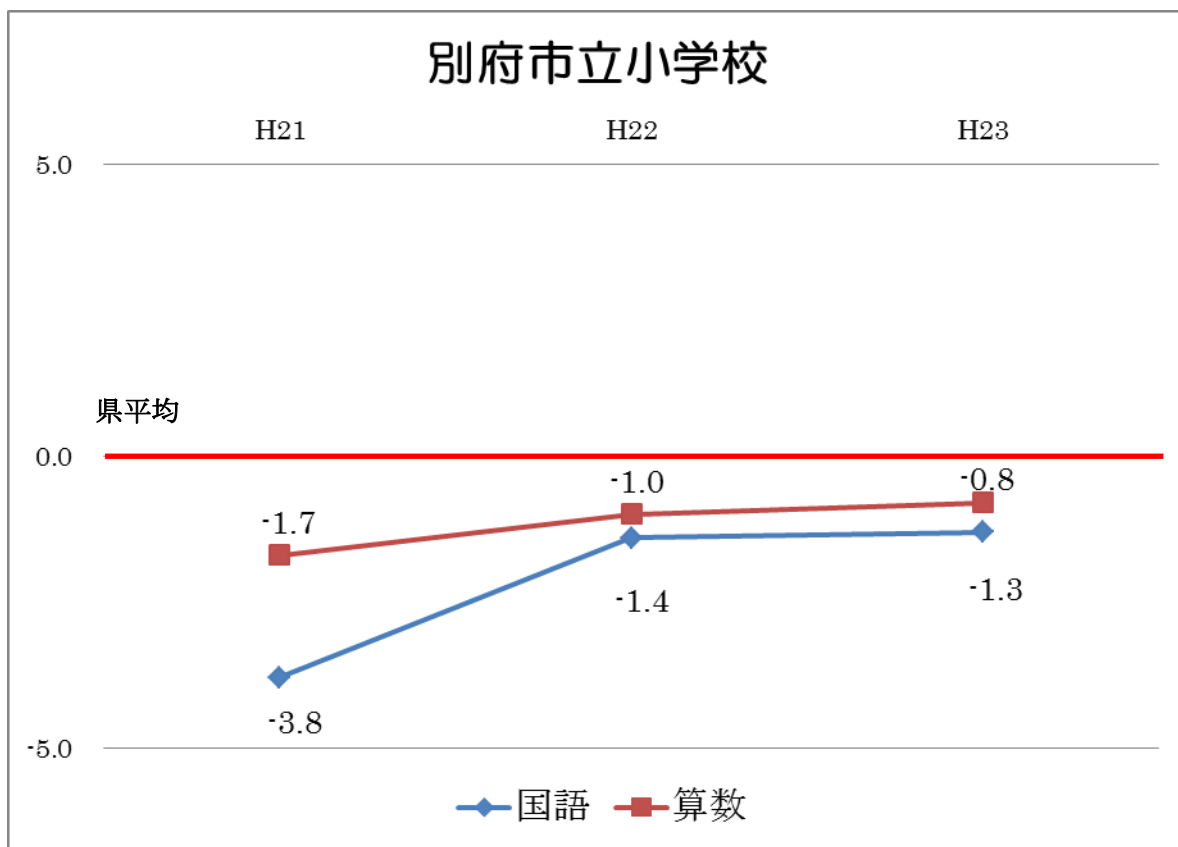
年度	大分県（公立）		別府市教育委員会			
	基礎	応用	基礎	県との差	応用	県との差
H21	63.6	53.8	62.8	▲0.8	51.2	▲2.6
H22	69.5	61.8	69.5	0.0	60.2	▲1.6
H23	72.4	46.9	73.4	1.0	49.6	2.7

■ 英語

年度	大分県（公立）		別府市教育委員会			
	基礎	応用	基礎	県との差	応用	県との差
H21	73.4	49.5	70.2	▲3.2	43.5	▲6.0
H22	75.4	48.3	71.3	▲4.1	45.0	▲3.3
H23	69.7	49.4	68.5	▲1.2	45.1	▲4.3

※平均正答率とは、設問数に対する正答数の割合である。平均点と考えることもできる。

大分県基礎・基本の定着状況調査 ～各教科の県平均正答率との差の推移～



(2) 平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した別府市学力調査

別府市平均正答率（単位：％）

※ 本年度の「全国学力・学習状況調査」は、東日本大震災の影響で実質中止になり、調査問題を活用して別府市が実施したものなので、国及び県の平均正答率はない。

【小学校第6学年】

■ 国語A：主として知識、国語B：主として活用

年度	全国（公立）		大分県（公立）		別府市教育委員会			
	国語A	国語B	国語A	国語B	国語A	県との差	国語B	県との差
H21	69.9	50.5	69.4	48.1	68.9	▲0.5	48.0	▲0.1
H22	83.3	77.8	82.1	76.3	78.7	▲3.4	71.2	▲5.1
H23					76.8		44.5	

■ 算数A：主として知識、算数B：主として活用

年度	全国（公立）		大分県（公立）		別府市教育委員会			
	算数A	算数B	算数A	算数B	算数A	県との差	算数B	県との差
H21	78.7	54.8	78.7	51.8	77.7	▲1.0	50.3	▲1.5
H22	74.2	49.3	73.3	48.0	69.4	▲3.9	45.6	▲2.4
H23					81.6		47.9	

【中学校第3学年】

■ 国語A：主として知識、国語B：主として活用

年度	全国（公立）		大分県（公立）		別府市教育委員会			
	国語A	国語B	国語A	国語B	国語A	県との差	国語B	県との差
H21	77.0	74.5	76.8	73.9	74.3	▲2.5	69.4	▲4.5
H22	75.1	65.3	74.4	63.9	71.4	▲3.0	57.8	▲6.1
H23					79.1		67.6	

■ 数学A：主として知識、数学B：主として活用

年度	全国（公立）		大分県（公立）		別府市教育委員会			
	数学A	数学B	数学A	数学B	数学A	県との差	数学B	県との差
H21	62.7	56.9	61.4	53.9	57.2	▲4.2	48.7	▲5.2
H22	64.6	43.3	62.4	41.1	60.2	▲2.2	36.4	▲4.7
H23					57.7		51.3	

※平均正答率とは、設問数に対する正答数の割合である。平均点と考えることもできる。

(3) 学習意識調査（学習や生活についてのアンケート：基礎・基本の定着状況調査）

小学校第5学年	中学校第2学年
◇肯定的回答が全国及び県と比較して多かった項目	
① <u>夕食は、家の人と食べている。</u> ② <u>朝は、時刻を決めて起きている。</u> ③ <u>朝は、自分で起きている。</u> ④ <u>学校が好きである。</u> ⑤ <u>自分の力をできる限り伸ばしたいと思う。</u> ⑥ 自分が好きである。 ⑦ 自分は家の人から認められていると思う。 ⑧ 勉強するときは、集中して勉強している。 ⑨ 家では、勉強する場所を決めている ⑩ 家の人から言われなくても、進んで勉強している。	① <u>夕食は、家の人と食べている。</u> ② <u>朝は、時刻を決めて起きている。</u> ③ <u>朝は、自分で起きている。</u> ④ 本を読んでいる。 ⑤ <u>学校が好きである。</u> ⑥ <u>自分の力をできる限り伸ばしたいと思う。</u> ⑦ 筆記用具などを用意してから勉強している。 ⑧ 勉強にパソコンを利用している。 ⑨ 学習塾に行って、勉強している。
【小・中学校に共通して言えそうなこと】 <input type="checkbox"/> 起床に関しては自分で管理できている児童生徒が多い。 <input type="checkbox"/> 学校が好きな児童生徒が多い。 <input type="checkbox"/> できるようになりたい、成長したいという願いを持っている。	
◆肯定的回答が全国及び県と比較して少なかった項目	
① 朝食をきちんと食べている。 ② <u>家の手伝いをしている。</u> ③ <u>新聞の記事を読んでいる。</u> ④ <u>学校では、先生にあいさつをしている。</u> ⑤ <u>地域の行事に参加している。</u> ⑥ <u>自分は、先生からみとめられていると思う。</u> ⑦ 話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている。 ⑧ 話し合いで、自分の考えを積極的に話している。 ⑨ <u>自分で勉強の計画を立てて、勉強している。</u>	① <u>家の手伝いをしている。</u> ② 家の人と決めた約束や決まりを守っている。 ③ 学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている。 ④ <u>新聞の記事を読んでいる。</u> ⑤ <u>学校では、先生にあいさつをしている。</u> ⑥ 学校のきまりを守っている。 ⑦ <u>地域の行事に参加している。</u> ⑧ <u>自分は先生からみとめられていると思う。</u> ⑨ <u>自分で勉強の計画を立てて、勉強している。</u> ⑩ 物語などを主人公の気持ちを思いながら読んでいる。
【小・中学校に共通して言えそうなこと】 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での自分の役割を十分果たしていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域や社会に対する関心が薄い。 <input checked="" type="checkbox"/> 伸びたいという願いはあるものの、必ずしも自律的な努力ができているわけではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 教師との信頼関係に不安を感じている。	

※下線部分は小・中学校共通の傾向があった設問

4. 調査結果の分析

(1) 大分県の平均正答率に近づいている

県平均正答率に達していない教科が多いが、年々、その差が縮まっている。特に中学校2学年の数学は基礎も応用も県平均を上回っている。小学校も中学校も、そして、国語も算数・数学も力をつけてきていると言える。

ただし、中学2年生の数学以外は県平均を下回っているため、県平均を上回れるように、学力向上に向けて現在の指導及び取組を維持・継続するとともに、さらに充実させていく必要がある。

(2) 基礎的な内容に比べ思考力・判断力・表現力にかかわる設問が弱い

「大分県基礎・基本定着状況調査」では、基礎よりも応用において県平均との差が大きい。また、「全国学力・学習状況調査問題を活用した別府市学力調査」において、A（基礎）問題よりもB（活用）問題において、平均正答率が低くなっている。問題の得意・不得意を見ても、正答率の低い設問や無回答が多い設問は、書き直す、理由を書く等「考えて文を書く」ような、主に思考力・判断力・表現力にかかわる設問である。

基礎的な内容の定着をはかるとともに、思考力・判断力・表現力などの活用力の育成に向けた取組を充実させる必要がある。

(3) 基礎・基本の力を活用の力に結びつけていくことが必要

「全国学力・学習状況調査問題を活用した別府市学力調査」において、小学校国語および算数の基礎と中学校国語の基礎の平均正答率が高くなっている。特に、基礎の問題において、全体的な底上げができてきていると言える。日常の繰り返し学習や宿題等の家庭学習の効果が表れてきていることが考えられる。

児童生徒に基礎的な力をさらに定着させ、活用の力に結びつけていくためには、計画的な繰り返し学習や家庭学習の充実はこれまで通り継続した上で、児童生徒の学習意欲を喚起し、既習の知識や技能を活用するような学習展開を工夫する必要がある。

(4) 学校と家庭（地域）がそれぞれの役割を果たす必要がある

学習意識調査から別府市の子どもたちは、学校が好きで、もっと伸びたいという願いを持っている一方で、社会のルールを守り、学習に計画的に取り組むなど自己を律する心に弱さが見られる。また、家庭で大切にされているとと思っている一方で、教師との関係においては、不安が見られる。

学校においては、話をじっくり聴いたり、行動を認めるような声かけをしたりすることで、児童生徒との信頼関係を築かなければならない。

家庭においては、家庭学習の時間を十分確保し、どの程度理解できているかをチェックしたり、手伝い等を通して自分のことは自分でしようとする自立心を涵養したりする指導が必要である。

5. 別府市における今後の取組

【 子どもに付けたい力 】

◇思考力・判断力・表現力を向上する ◇自己を律する力を育てる

【具体的な方策】

(1) 教育委員会における方策

《学校への支援の充実》

- ・各学校において作成した「学校独自の学習課程」に基づいて授業が展開されるよう、校内研修に指導主事を派遣し、指導助言する。
- ・学力向上会議等に指導主事を派遣し、各学校の学力向上プランが適切に実行されるよう指導助言を行う。

《学力向上施策の推進》

- ・児童生徒の学力状況を把握・分析し、各学校における学習指導の改善に役立てるために、別府市学力調査を行う。
- ・別府市助成公開研究発表会や学力向上支援教員公開授業、活用型学力研究校の公開授業等を通して、学校や教員の研修の成果を別府市全体に広める。

《家庭や地域との連携》

- ・学校の状況を家庭や地域に知ってもらうことで、学校と家庭・地域が協力して子どもの教育を行えるように、別府市統一公開日や学力調査結果の公表を行う。

(2) 学校における方策

《わかる授業の構築》

- ・思考力・判断力・表現力の向上をめざし、言語活動を充実させた、問題解決型の授業を構想する。
- ・各学校で定めた「学校独自の学習課程」を全教員で共通理解し、同一歩調で指導にあたる。

《基礎学力の向上》

- ・子どものつまずきの背景をとらえ、きめ細やかな指導計画で授業を進める。
- ・問題データベース等を活用し、日常的な繰り返し指導を行う。

《学級経営の充実》

- ・きき合える関係づくりを通して、子どもと子ども、子どもと教師が信頼関係で結ばれた親和的な学級を築く。

(3) 家庭における方策

《家庭学習の充実》

- ・各学校から配布されている「家庭学習の手引き」や「家庭学習計画表」を参考に、家庭学習の時間の確保と内容の充実を図る。

《基本的生活習慣の確立》

- ・就寝時間、テレビやゲームの時間、身の回りの整理整頓等、規則正しい生活を送らせる。
- ・家庭における仕事や役割を明確にして、責任を持たせる。